大会名称: **東日本大震災復興支援**
第9回全日本社会人バスケットボール選手権大会

開催場所: **広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) Bコート**

試合区分: **No. 14 男子 準決勝**

期 日: **2013(H25)年11月4日 (月)** 主審: **針生 淳男**

開始時間: **09:30** 副審: **大久保好純、田中 稔**

九州電力 (実業団3)	○ 77	16 — 19 21 — 19 20 — 7 20 — 25 — — —	● 70	曙ブレーキ工業 (実業団2)

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		松谷 直人	−	−	−	−	−	3		庫山 隼輔	−	−	−	−	−
5		中川 直之	3	1	0	0	1	7		石井 孝生	2	0	1	0	0
6		柚木 毅	−	−	−	−	−	8	*	佐々木 陽	11	1	3	2	2
8		岡 隆輔	0	0	0	0	1	9	*	熊 吉	18	0	8	2	1
9	*	田中 喜陽	14	0	6	2	3	11		真栄田 佑	−	−	−	−	−
12	*	織田 秀司	15	0	7	1	3	15	*	田中 洋貴	6	0	3	0	1
15		賀来 龍矢	−	−	−	−	−	16		根元 裕貴	0	0	0	0	1
16		村瀬 敦希	−	−	−	−	−	17	*	田村 晋	20	2	5	4	3
21	*	毛利 孝志	17	1	7	0	3	25		渡邉 純平	−	−	−	−	−
24		中深迫 諒太	−	−	−	−	−	31		駒水 豪	−	−	−	−	−
26		坂本 祐一	−	−	−	−	−	32	*	藤原 勇介	4	0	2	0	4
30		吉満 俊孝	−	−	−	−	−	34		金城 真悟	0	0	0	0	1
31		児嶋 修平	−	−	−	−	−	87		河本 裕一	9	1	1	4	2
33		横山 優王	−	−	−	−	−								
34		佐敷 幸英	−	−	−	−	−								
35	*	熊谷 駿	8	0	4	0	3								
45		根岸 豪	14	0	3	8	3								
91	*	酒井 祐典	6	0	3	0	1								
コーチ		山口 健太郎 / TEAM						コーチ		城迫 昇 / TEAM					
		合計	77	2	30	11	18			合計	70	4	23	12	15

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド:両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタート。曙ブレーキは序盤から良いリズムで点を取り、リードを広げるが、対する九州電力は鋭いドライブや速攻などで、点差を開かせない。曙ブレーキ19−16九州電力で第1ピリオドを終了。
第2ピリオド:九州電力は連続得点を挙げ、開始早々逆転に成功。その後、リズムを掴んだ九州電力は、着実に得点を重ねる。一方、しばらく得点がとまった曙ブレーキは、慌てることなく反撃の機会をうかがい、じわじわと点差を縮める。残り5分を過ぎてからは、両チーム互角の戦いを見せ、曙ブレーキ38−37九州電力で前半を終える。
第3ピリオド:九州電力は#35熊谷の豊富な運動量で高い位置からプレッシャーをかけ、スティールから速攻につなげるリズムが生まれる。流れを一気に引き寄せた九州電力はその後もロングシュート、ゴール下が次々に決まり、最大で12点差のリードを奪う。曙ブレーキは思うように点が取れず、我慢の時間が続く。試合の流れは九州電力が優勢のまま、曙ブレーキ45−57九州電力で最終ピリオドへ。
第4ピリオド:曙ブレーキ#17田村の外からのシュートが決まり始め、試合の流れは曙ブレーキに少しずつ傾き始める。曙ブレーキのゴール前の堅いディフェンスの前に、九州電力は外からのシュートが多くなり、再び点差はじわじわと縮まる。しかし、終始落ち着いたボールコントロールでリードを守った九州電力が逃げ切り、曙ブレーキ70−77九州電力で勝利を手にした。